

● 隣近主日

# 泉のほとり

今月の詩篇「第九編」

わたしは心を尽くして主に感謝をささげ  
驚くべき御業をすべて語り伝えよう。



## 主のことばは実現する

「どうしてそのようなことがありえましょうか。私は男の人を知らないのです」と話したマリアに、天使ガブリエルは「不妊の女と言われている、あなたの親戚エリサベトは男の子を身ごもっている。もう六ヶ月になつてはいる」と伝えました。そしてさらに、「神にできないことは何一つない」とマリアに言いました。

「神にできないことは何一つない。」

マリアは天使ガブリエルのお告げを確かめるために、エリサベトのところに行きました。マリアがエリサベトを訪ね、挨拶をしていると、なんとエリサベトのお腹にいる子ヨハネがマリアの声を聞いて激しく動いていたのです。エリサベトもマリアに「あなたは女の中で最も幸いな人だ。私の主のおかあさんが私のところに来てくれるとは」と言っていました。

エリサベトは、男を知らないで身ごもったマリアのことを素直に信じていたようです。「いや、それはおかしい。男の人を知らないで、女の人が身ごもるなんて、それはありえない」とは言わなかったのです。かえって、マリアに向かって、「あなたは幸いである。神のことばは必ず実現する。そのことを信じる人は幸いである」と言っていたのです。

エリサベトの大、ザカリアは天使ガブリエルによって、エリサベトが身ごもって男の子を産むという話を受けました。その時、ザカリアは「年若い我々にどうしてそのようなことが起こるでしょうか」と言って、天使ガブリエルの話を信じなかつたのです。そのため、その子供が生まれるまで口が利けなくなるのです。男の人を知らないマリアが身ごもった話はなおさらのことかと思えます。マリアでさえ天使ガブリエルに「どうしてそのようなことがあり得ま

しょうか」と言いました。しかし、エリサベトはマリアの話を聞いて素直に喜んでいたので、それこそ、「神にできないことは何一つない」と素直に思っている心だからと言えることでしょう。

さらにエリサベトは「神のことばは必ず実現する」と言いました。「神にできないことはない。神のことばは必ず実現する」とは当時のユダヤの地に住んでいる者、誰もが当たり前のように持っていた知識です。しかしエリサベトのように神の力を信じる心の者はほとんどいなかったと思います。

天使ガブリエルはマリアにエリサベトの出来事をお話しました。ただ「信じなさい」というだけじゃあかたと思うのですが、天使はわざわざそのことを伝えたのです。彼女こそマリアの身に起きた神の力を信じる仲間である、紹介しているかのように、彼女はクリスマススの秘密を受け取るにふさわしい、信頼できる心の人だったからだと思います。

神は天地を造られました。人を造り、すべての命を造られたお方です。キリストをよみがえらせたお方です。処女が身ごもって男の子を産むことを素直に神の業として受け止めたエリサベトの心は、死んだ自分にも再び命を与えられる神の力を信じる心でもあるでしょう。そのよう者の目は今もその神の力が自分を生かしていることを見て生きているのです。

クリスマスを迎えました。神のことばの通りに、キリストはお生まれになりました。キリストは私たちの罪のために来られたことを思いま。神にできないことは何一つない。何よりも神は私を罪から救うことができるお方であることに私たちのすべての望みがあることを思いま。 (ルカ一・三九〜四五)

## 祈り

○「ひとりのみどりごがわれわれのために生まれた」。旧約の昔、預言者がどのような思いで語ったか、それを知ることのできないこの言葉が、預言者が知っていた以上にわたし共の確かな現実となり、わたし共の歌う力となりますように。このみどりご、御子イエス・キリストをわたし共に与えてくださいました父なる御神、あなたは、このように変わらざる恵みの父であることを、この降誕の祝いの日に鮮やかにしてください。

幼子の誕生を、幼子の心をもって受け入れる者に約束してくださいる祝福の大きさを思い、そのみずみずしさを、懐かきを思います。どうぞ今、それにあずかせてください。御心を受け入れるに相応しくない心を、真実の悔い改めをもって聖めることができますように。御心に背いた日々を、祈ること少なく朝に夕べに過ごしたときを、真実に助け起こすことのできなかった、倒れていた人びとを今ここに思い起こし、そこに現れる私どもの弱さの罪を、不信仰と愛の貧しさの罪を、愛を憎しみに変えてしまう恐ろしい罪を恥じ、悔いることができますように。兄弟姉妹を顧みさせること多く、これを助けること少なかった罪を思い起こす

すことができますように。自分のことにかまけ、さまざまなきことを口実に御心を行わなかった日々を恥じ、悔いることができますように。わたし共を憐れんでください。憐れみの中で教えてください。主が生まれてくださったことを、わたし共の罪のために死んでくださったことがどんなにわたし共を生かす恵みであるかを。

全世界の教会に力を与えてください。クリスマスが年中行事に終わることのないように御霊を注いでください。助け起こしてください。今日、初めての聖餐にあずかる者がいます。その魂と肉体を支えてください。多くの兄弟姉妹を迎え入れることのできたわたし共一人ひとりが、新たな思いをもってこのクリスマスの食卓を開くことができますように。今、互いに祈りをもって支え、この後も共に手を取り合って歩いていく兄弟と姉妹との交わりの心を熱くすることがありますように。それぞれが属しています職場や家庭をも顧みてください。

昨年のクリスマスから今日まで支えられ、守られてきたことを感謝すると共に、家族の愛がいよいよ深くなり、職場での、学校での生活がいよいよ喜びに満ちたものとなりますように。物は豊かでも魂が貧しくなる時代であります。わたし共の国を憐れみ、導いてくださいますように。全世界のクリスマスの歌声に合わせ歌うわたし共の讃美の歌を、御心に通う、力ある、そして聖きものとしてください。

主イエス・キリストの御名によって、感謝し、祈り願います。アーメン

(加藤常昭「み前にそそぐ祈り」より)

## 今日のお知らせ

○今日はクリスマス礼拝です。礼拝の中で、転入会式を行います。

新井恵子 吉祥寺キリスト教会より  
市川純子 教団済志野教会より

○礼拝後、一時から一時五分まで、シオンルームにて、「ぶどうの会」の特別プログラムがあります。また、一時五分からは礼拝堂で、教会学校生徒によるページェント「羊飼いの笛」が上演されます。

○一二時三十分からホールで、クリスマスを祝い、新たに群れに加えられる方々を歓迎する会を行います。

○その後愛餐会で、昼食を一緒にします。今日のメニューは、鶏肉のチーズ焼き、マカロニサラダ、かき卵汁、キャロットライス、ゼリーです。

○次週一月一日と、その翌週の一月八日の成人式礼拝は、朝一〇時からの一回礼拝です。

○事務所は明日大掃除を行い、翌二七日から一月七日まで、年末年始の休みに入ります。

○吉村牧師は明日二六日の夕方行われる教文館のクリスマス礼拝で参仕します。

## ラバウルだより

当研修センターの一番の課題は研修センターを運営する為の収入源の確保でした。研修生の学費だけでは足りないし、その上研修生からの学費の支払いも毎年遅れるため、研修センターの運営に支障をきたしていました。その課題を新所長は「銀行からのローン」と言う新しい提案を持ち出して来ました。その返済方法に關しても明確にし、スタッフを十分に納得させるものでした。ローンは借金ですから、一抹の不安もありました。しかし、その後いくつもの収入源がはつきりとした形で進展があり、神様のみ手を示して頂きました。

- ①ブルドーザーと中古車トラクターの購入者が与えられました。
- ②オイスカの土地の脇を流れている川に堆積している石を買い取たいという業者が現れました。
- ③オイスカにあるカカオ農園から採れるカカオ豆を加工したチヨコレート製造のプロジェクトに州政府から予算が与えられました。
- ④アジア開発銀行が新たに始めたいと計画している、異常気象に対応できる農法の調査と農民への普及、プロジェクト参加の要請。

⑤センターで取り組んでいるワニ肥育プロジェクトへの支援金。

⑥その他。

こう言う明るい状況が見えてきた中、何時もノベットの所長と確認しあっている点があります。「何時も神様のみに前に謙虚で居ましょう！」神様はへりくだる者を高めて下さり、高ぶる者を低くされます。悪魔はいつも小さな空気を狙って人を神様から離そうとたくらんでいるので、彼らにチャンスを決して与えないよう霊の心を何時も問っているよう祈っています。霊の戦いは続きます。お祈り下さい。

荳原美知勝記

## ご案内

一月二十九日(日)一二時半～三時半の予定で教会研修会を行います。  
テーマは「愛の業として奉仕を学ぶ」です。案内を決定しに配布しました。教会員はご参加ください。



## ミニコンサート

1月26日(木)12時30分開演

ピアノ演奏

## 次週礼拝

●新年礼拝(午前10時)

讃美歌 今日もまた新しく 121番

説教 「思いめぐらすマリア」

聖書 ルカ2章15～21節

説教者 古村利雄 牧師





## クリスマス礼拝 (午前10時)

讃美歌 106番

112番

説教 「シメオンが見ていた救い」

聖書 ルカ2章22～35節 (新約P103)

司式者 石川・兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 黄 允湜 副牧師

前奏曲「もろびと声上げ」J.マス

### ○ 讃美歌 106番

1. あら野のはてに 夕日は落ちて  
たえなるしらべ 天よりひびく

※ グローリヤ イン エクセルシス デオ  
グローリヤ イン エクセルシス デオ

2. ひつじを守る 野へのまきびと  
天なる歌を 喜びききぬ

※ くりかえし

3. み歌をききて 羊飼いらは  
まぶねにふせる み子をおがみぬ

※ くりかえし

4. 今日しも御子は うまれたまいぬ  
よるずの民よ いさみて歌え

※ くりかえし アーメン

### ○ フルートによる讃美

「クリスマス・ララバイ」 J.ラッパ

### ○ 聖歌隊による讃美

「神のみ子は」 B.ルン

グローリア インエクセルシス デオ!

グローリア インエクセルシス デオ!

神のみ子は こよいしも

ベツレヘムに 生まれたもう

いざや友よ もろともに

急ぎゆきて 拝まずや

急ぎゆきて 拝まずや

とこしなえのみことばは 今ぞ人となりたもう

待ち望し主の民よ 急ぎゆきて 拝まずや

アーメン!

### ○ 讃美歌 112番

1. もろびとごぞりて むかえまつれ  
久しく待ちにし 主は来ませり  
主は来ませり 主は 主は来ませり

2. 悪魔のひとやを うちくだきて  
とりこをはなつと 主は来ませり  
主は来ませり 主は 主は来ませり

3. この世の闇路を 照らしたもう  
たえなる光の 主は来ませり  
主は来ませり 主は 主は来ませり

4. しぼめる心の 花を咲かせ  
めぐみの露おく 主は来ませり  
主は来ませり 主は 主は来ませり

5. 平和のきみなる み子をむかえ  
救いの主とぞ ほめたたえよ  
ほめたたえよ ほめ ほめたたえよ アーメン

聖餐曲「無伴奏フルート・ファンタジー第4番  
変ロ長調」 G.Ph.ヘルトン

後奏曲「ヘンデルのテーマによるマーチ」 A.ベルマン

※ 礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎回お持ちください。